



【氏 名】半田 育未

【入会年度】平成29年度

【出身大学&学部&学科】

宇都宮大学 農学部 生物資源科学科

【所属部署】経営指導部

1. 中央会を選んだ理由

大学では農学を専攻していたこともあり、農業の大変さや面白さを学ぶうちに農業に携わりたいと思うようになりました。農業が盛んな栃木で、人々の暮らしに欠かせない「食」を支える農業と、その農業を通して栃木の振興に貢献できる中央会に魅力を感じ志望しました。

2. 担当している仕事

私が所属している経営指導部では、JAの運営面をサポートする仕事をしています。JAでは様々な事業を行っているため、四半期ごとに事業別の損益状況について分析、とりまとめを行います。私の担当事業は、農家の方が共同で利用する施設（選果場等）の利用事業やデイサービスなどの福祉事業等を担当しており、農作物の作柄や事業規模で、JAごとに損益の要因が異なるため、JAに聞き取りをするなどして分析をします。

また、各JAでのJA自己改革の取り組みに関する情報を発信したり、JAの事業計画を作成するための参考資料の作成なども行っています。

JAから、会計や決算処理に関する問合せが多くあるため、最初のうちは簿記や財務に関する勉強も重要な仕事になります。

3. 仕事のやりがい

JAからの問い合わせを受けることが多く、その内容は会計や法律に関することもあるため、色々と調べた上で慎重に回答しなければなりません。問い合わせ対応にはかなり苦戦していますが、自分で調べたり、上司・先輩方の助けを借りて、質問の回答にたどり着けたときにやりがいを感じます。質問がある度に自分の知識も増えていくため、成長を実感することもできます。

また、JAの企画や経営に関わる参考資料として冊子を作る仕事があるため、何度も原稿を修正して、自分が担当する冊子が出来上がったときは達成感を感じます。

4. 中央会の魅力(後輩へのアドバイス)

中央会では、経営の支援から、営農に関する仕事、広報やイベント等の企画に関する仕事など幅広い経験ができます。その分幅広い知識が必要となり、日々学ぶ姿勢を持つことが重要となりますが、中央会は若いうちから色々な仕事を任されるため、学んだことを発揮する機会がたくさんあると思います。



【氏 名】入江 誠也

【入会年度】平成29年度

【出身大学&学部&学科】

白鷗大学 経営学部 経営学科

【所属部署】農業くらし推進部

1. 中央会を選んだ理由

私は、地元で仕事に就きたいと考えていました。そして祖父母が米農家で、小さい頃から米作りを手伝っていたこともあり、農業振興に携わる仕事に興味を持ち、中央会に入会しました。

2. 担当している仕事

私が担当している業務は、県内児童に対する食農教育です。具体的には、ごはん・お米をテーマにした作文・図画作品をJAから取りまとめ、審査を行い、コンクールを開催します。他にも、学校の授業等で使われる学習資材「とちぎの農業」の編集委員会を開催し冊子の作成を行い、県内の小学校に配本します。これらの業務は次世代を担う子どもたちに食と農について関心を持っていただくために行っています。

3. 仕事のやりがい

時間をかけて準備をする業務が多いため（作文・図画コンクール表彰式開催、とちぎの農業作成等）それらが無事終了すると、達成感を感じます。過去の資料を見ているだけだと分からないことが多く、相手の立場にたって考えないと見えてこない業務が多いため、苦勞することも多いですが、その分、達成感はより大きなものになっています。

4. 中央会の魅力(後輩へのアドバイス)

中央会は、自分の意見を発言できる環境が整っていると思いました。業務で分からない時、打ち合わせをする時、事務局として催しごとを運営する時など、JAからの問い合わせも多く、人と話す機会が多いため、他の仕事よりもコミュニケーションをとることが重要な職場であると思いました。様々な人と関わりを築きながら仕事をしたい人に適した職場だと思います。



【氏名】増淵 瑞乃

【入会年度】平成29年度

【出身大学&学部&学科】

日本女子大学 家政学部 家政経済学科

【所属部署】電算企画運用部

1. 中央会を選んだ理由

私は、地元で働き続けられる仕事に就きたいと考えていました。就職先を探す中で、中央会で電算業務を行う部署があると知り、地元の農業を電算システムで支えられる仕事に魅力を感じ志望しました。また、見学させていただいた時や就職試験を受けた時に職場の雰囲気の良いを感じ、ここで働きたいと強く思いました。

2. 担当している仕事

各JAで利用している業務用端末の管理をしています。管理している端末の数は、各種端末750台、ATM200台の合わせて約1000台になります。この1000台の端末機について、障害が発生したときの対応をしたり、増設や移設の依頼を受けたり、システムの更新を行ったりしています。

最近の業務では、300台の端末機の更新があり、Windows10を導入するのかが検討したり、導入決定後は電算開発部とも協力しながら使用しているシステムがWindows10に対応しているかどうか確認するための試験を行い、インストールの準備をしたりしていました。

3. 仕事のやりがい

1000台もの端末を管理していると、故障が発生する端末もでてきます。最初は電話に出るのもやっとでしたが、JAから故障が発生して困っていると電話があった時に各業者と連携して解決できるようになった時はとても嬉しく思いました。

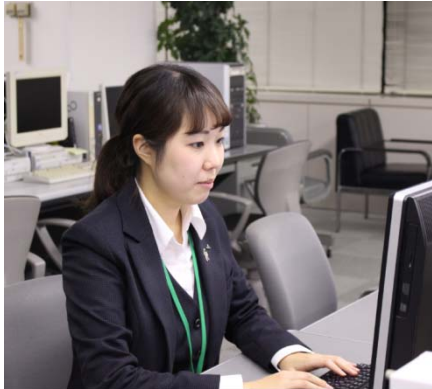
また、私はもともと電算システムについての勉強をしたことがなく、最初は会議に出席しても先輩方が何について話し合われているのか全くわからない状態でした。毎日いろいろな業務や、端末・サーバーなどに関することを教えていただき、任せていただいた仕事を初めて1人でできた時の喜びは大きかったです。

4. 中央会の魅力(後輩へのアドバイス)

若いうちから担当の仕事を任せてもらえるため、やりがいが多いことが魅力だと思います。

また、幅広い業務に携われることも中央会ならではの魅力だと思います。私が担当している仕事は端末関係だけでなく、ネットワークやセキュリティについての仕事もしています。担当業務以外にも中央会にはもっと幅広い業務がありますので、常に学べる、成長し続けられる職場です。

最後に、就職活動のアドバイスですが、実際に働いている職員をよく見てほしいと思います。就職したらずっと一緒に働くことになりますので、ここで一緒に働きたいと思える職場でなければつらいと思います。私は中央会で信頼できる先輩方と働くことができ、ここに就職できてよかったと思っています。



【氏 名】宮本 あすか

【入会年度】平成29年度

【出身大学&学部&学科】

宇都宮大学 工学部 情報工学科

【所属部署】電算開発部

1. 中央会を選んだ理由

私が最初に中央会に就職したいと思ったのは、大学に中央会電算職の求人が来ていたことがきっかけです。大学で学んだ情報工学の知識を少しでも活かせるような仕事につきたいと思っていたので、ここでなら自分の学んだことを活かすことができると考えました。また、電算職は、システムの面から栃木県の食や農業を支えることができる、というところに魅力を感じました。以上の理由から、中央会に就職することを決めました。

2. 担当している仕事

普段の仕事では、JAが利用しているシステムの開発、維持・管理を行っています。JAからシステムに関する要望があったときには、プログラムの修正も行います。プログラムが正常に動作しないと、システムを利用しているJAに迷惑がかかってしまうので、入念にテストを行います。また、月に2～3回ほど、JAグループ栃木のホームページの更新を行っています。トップページの更新や、中央会の機関紙のアップロードなどを行っています。最近では、新たなシステムを構築するのに必要な知識を学んでいます。

3. 仕事のやりがい

今までで一番やりがいを感じたことは、作成したプログラムが自分の思ったとおりに正しく動作したことです。まずは、どのような結果をだしたらよいのか考え理解することから始まり、どうやってそれを実現するか考え、うまくいかないときは先輩に相談します。そうしてプログラムが完成したときには、大きな達成感がありました。

4. 中央会の魅力(後輩へのアドバイス)

J Aは総合事業によって、さまざまな角度から組合員の生活や、栃木県の農業を支えています。中央会の職員は、そのようなJ Aからの問い合わせに対し、正確な返答をしなければならないので、幅広い知識が必要です。ただシステムについて理解するだけでなく、様々な知識を身につけることはとても大変ですが、中央会はその一つ一つを自分の成長につなげることができる職場だと感じています。